

教授会議事要録

1. 日 時 平成21年10月8日（木）15：00～15：58
2. 場 所 大会議室
3. 出席者 福田所長ほか29名
4. 欠席者 4名

5. 議 事

○ 議事要録の確認

平成21年9月10日（木）開催の教授会議事要録（案）を承認した。

○ 審議事項

なし

○ 報告事項

(1) スマート・エイジング国際共同研究センターへの特任教授の配置について

議長から、スマート・エイジング国際共同研究センター企画開発部門に、特任教授を配置するとの報告があった。

(2) 各種委員会報告

① 議長から、資料2-1により、部局長連絡会議・懇談会及び教育研究評議会（9月15日（火）開催）の主な議事内容について報告があった。

特に、教員の63歳定年後の継続雇用への対応については、定年年齢を年金の支給開始年齢の引上げに合わせ、段階的に65歳に引上げること、及び加齢研が申請していた、スマート・エイジング国際共同研究センター設置に伴う、組織変更申請が承認されたとの報告があった。

また、運営会議（10月6日（火）開催）の概要について報告があった。

② 財務委員会委員長から、9月29日（火）に開催された財務委員会の概要について報告があった。

特に、旧医用細胞資源センター1階の102号室を山羊の手術室として、101号室を小動物の実験室として使用することとしたとの報告があった。

③ 研究推進委員会委員長から、本年度の研究奨励賞受賞候補者を、10月末日まで所長に推薦願いたいとの発言があった。

④ 加齢研環境・安全管理担当責任者から、9月28日（月）に開催された、安全衛生委員会の概要について報告があった。

特に、加齢研関係者が新型インフルエンザに感染した場合は、研究所としての対策を講ずる必要があるので、庶務係に報告願いたいとの発言があった。

⑤ 構成員から、生命科学研究科教授会（10月7日（水）開催）で、現在建設中の生命科学研究科研究棟が完成した場合は、落成式を行う予定である旨報告された、との発言があった。

- ⑥ 構成員から、病院科長会議（9月17日（木）開催）で、病院の経営改善係数については、第二期中期目標期間では適用しない見込みである旨報告された、との発言があった。
 - ⑦ 遺伝子実験センター長から、動物実験センターと共同で、今後実験申請方法の見直し、実験施設の登録番号制、及び実験責任者・実験者の講習会受講の義務化を検討する予定であるとの報告があった。
 - ⑧ 構成員から、追加資料により、10月1日（木）に医学部・医学系研究科に開設された、学生なんでも相談室について報告があった。
 - ⑨ 構成員から、10月10日（土）、11日（日）に片平まつりが実施されるが、加齢研では研究実験棟及びプロジェクト総合研究棟の1階スペースしか使用しないので、2階以上のセキュリティ対策に協力願いたいとの発言があった。
- (3) 専任教授会報告
- 議長から、専任教授会（10月8日（木）開催）で、「テニユア・トラック教員に対するテニユア資格付与審査に関する申合せ」の、一部改正について審議したとの報告があった。
- (4) 職員の兼業について
- 議長から、資料3により、職員の兼業について報告があった。
- (5) 平成21年度寄付金（第2四半期）の受入れについて
- 議長から、資料4により、寄附金の受入れ状況の報告があった。
- (6) その他
- ① 構成員から、来年金沢で開催予定の第5回研究所ネットワーク国際シンポジウムでの加齢研発表者の推薦を依頼していたが、3名の推薦があり、若手講演者1名、ポスター発表者2名を決定したとの報告があった。
 - ② 議長から、9月18日（金）、19日（土）に帯広畜産大学で、国立大学附置研究所・センター長会議第2部会が開催されたとの報告があった。
 - ③ 議長から、次回教授会は11月12日（木）の午後3時から大会議室で開催するとの報告があった。
 - ④ 議長から、加齢研の現状と今後の方針について理解願いたいので、10月6日（火）に開催された、平成21年度部局評価ヒアリング内容を説明したいとの発言があり、スライドによる詳細な説明があった。

以 上